

こすもスマイル 56号

発行／小林市立病院 地域医療連携室 令和4年6月

～認定看護師のあいさつ～

雨に紫陽花の花が鮮やかに映える季節となりました。

私は、2017年に緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。

緩和ケアと聞くと、「緩和ケア＝ホスピス・終末期」とイメージする事が多く、治療もできない終末期医療と思われがちです。緩和ケアは、がんと診断された時から始まり、治療と並行して提供されるケアで、患者さんが抱える身体の苦痛や心の苦痛なども含め、緩和できるように支援していきます。私は看護を实践するうえで、患者さんが“その人らしく”日常生活を送ることができるように支援することを大切にしています。

それぞれの価値観やライフスタイルがあり、それらを尊重しながら、患者さん・ご家族の話を聞き、最善のケアが提供できるように努めています。

また、昨今ではアドバンス・ケア・プランニング（ACP: 自らが望む人生の最終段階における医療やケアについて前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い、共有する取り組みのこと）が推進されており、愛称で「人生会議」と呼ばれています。あなたも、人生の最終段階になった時、最期はどこで過ごし、どのように迎えたいか、そして延命治療を希望するのかなど、身近な人と「人生会議」をしてみたいかがでしょうか。

「人生会議」も含め、今後はさらに意思決定の機会が拡大され、「意思決定支援」も多様化することが考えられます。患者さん・ご家族に関わる地域の多職種と協働し、支援していくことが今後の課題と考えています。微力ではありますが、切れ目のないケアが提供できる地域づくりに貢献できるよう活動を発展させ、実践を積み重ねていきたいと考えています。

少しでも、患者さん・ご家族の身体や心のつらさが軽減され、その人が望む生活が送れるようなケアを提供できるように、スタッフ皆で力を合わせ頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

小林市立病院 緩和ケア認定看護師 主任看護師 大平落 里美

【理 念】

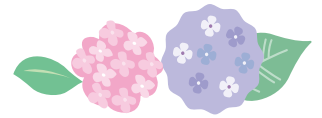
「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯（しんし）な姿勢で日々研鑽（けんさん）に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



消化器・腫瘍外科紹介



消化器・腫瘍外科は手術を中心とした急性期疾患を担っています。

具体的には大腸癌、胃癌を始めとした各種悪性腫瘍の検査、診断に始まり、手術、化学療法などの治療、さらに病状が進行した患者さんには緩和ケア治療を行っています。

また、良性疾患としては胆石症に対しての胆のう摘出術や鼠径ヘルニア手術を行っております。令和3年度は、195件の手術を施行いたしました。中には腹膜炎やヘルニア陥頓など、緊急手術が必要な症例もあり、17件施行いたしました。

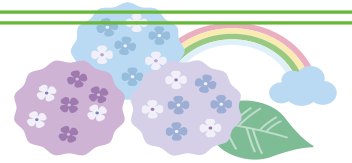
手術以外の症例については、胆のう炎や膵炎、憩室炎、虫垂炎などの各種炎症性疾患や、腸閉塞、出血性胃潰瘍など消化器疾患全般も担当しています。また近年では消化器内科の先生にもご協力いただき、総胆管結石に対しての砕石術にも取り組んでいるところです。



西諸圏内の医療機関、医師会の先生方、また大学病院などの高次医療機関とも協力し、地域の患者さんのために努力してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

消化器外科・腫瘍外科医長 泊 賢一郎

4 階東病棟紹介



当院に地域包括ケア病棟が開設され5年が経ちました。地域包括ケア病棟は急性期の治療を終え、症状が安定した患者さんの退院調整を主に行っています。

ご存知の方も多いかと思いますが、入院生活で問題とされるのが、長期臥床による「廃用症候群」です。人間の筋力は1週間の絶対安静で10～15%、3～5週間で50%まで低下するといわれています。さらに循環器、呼吸器、泌尿器、皮膚、消化器など体のさまざまな機能の低下を引き起こします。

当病棟はリハビリテーション室スタッフと連携して、歩行訓練や移動介助方法を計画し、患者さんが入院前の日常生活を取り戻せるように、日々取り組んでおります。

さらに患者さんご家族には、退院前に試験外泊・外出をお願いしています。実際に試験外泊された患者さんから、「家では何もしなかったけど、疲れた」という声が聞かれています。私たちも入院生活中に、いかに廃用症候群の予防が大切かをつくづく感じさせられます。

これからも一人でも多くの患者さんが自宅で過ごせるように、スタッフ一同、努力してまいります。

最後に、未だ収束の目途が立たない新型コロナウイルス感染予防対策のため、引き続き患者さんご家族には面会禁止へのご協力を頂き、感謝申し上げます。

4 階東病棟 主任看護師 今井まり子

新規採用者紹介

令和4年度の新規採用者をご紹介します。
よろしくお願いいたします。



常勤医師

整形外科

きど よしたか
木戸 義隆

本年度から着任しました、木戸と申します。
小林に赴任するのは初めてになります。まだまだ不慣れな点も多いですが、西諸地区の元気を支えられるように頑張ります。
宜しくよろしくお願いいたします。

非常勤医師

糖尿病・内分泌内科

あだち りょう
足達 良

4月より毎週水曜日の糖尿病・内分泌内科外来を担当しております足達 良と申します。
不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、しっかり頑張ってお参りますので
よろしくお願いいたします。

循環器内科

もうり しょうご
毛利 翔悟

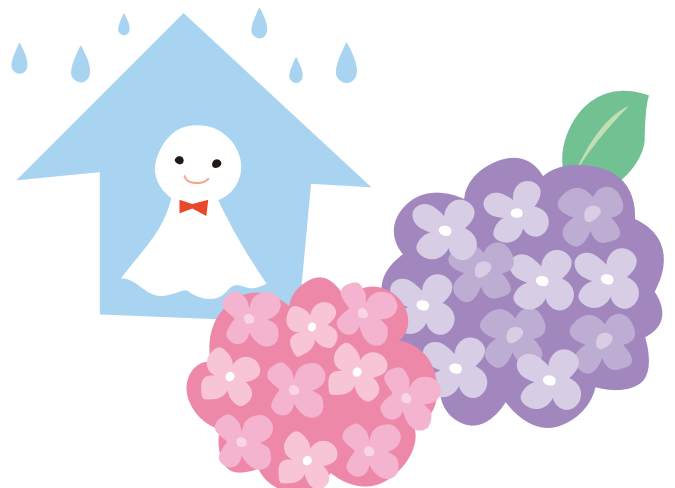
非常勤医師として4月に着任しました毛利と申します。週1回の勤務ですが、心機能評価などで皆様のお役に立てればと思います。
小林を訪れるのは初めてですが、地域医療にも貢献できるよう努めます。

臨床検査室

検査技師

おかつぎ はるね
岡次 春音

4月から臨床検査技師として働かせていただいています。
社会人一年目ということや、初めての小林市での生活で慣れないことや不安でいっぱいですが、西諸地域の医療に貢献できるよう頑張っていきます。



病棟



看護師

ありま みちよ
有馬 美智代

4月から5階病棟で勤務させていただくことになりました。

不慣れなことも多いですが、笑顔を忘れずに、安心安全な看護を提供できるよう頑張ります。

看護師

しんち あさみ
新地 麻美

3階病棟で勤務させていただくことになりました。

日々勉強に励みながら、患者さんと家族の方に寄りそった看護が提供できるように頑張ります。

これからよろしくお祈いします。

看護師

ひだか ともな
日高 朋菜

5階病棟で勤務させていただいています。患者さんの思いに寄り添える看護が提供できるよう日々努力していきます。

明るく笑顔で頑張ります。よろしくお祈いします。

看護師

おがわ ゆい
小川 侑惟

4月から3階病棟で勤務させていただくことになりました。日々たくさんの方のことを学びながら、患者さんに寄り添い看護をしていきたいと思ひます。

笑顔を忘れず、一生懸命頑張ります。よろしくお祈いします。

看護師

よしむら ゆう
吉村 優

4月から3階病棟で勤務させていただくことになりました。看護師一年目で慣れないことが多いですが先輩方のご指導の下、患者さんの心に寄り添った看護が提供できるよう頑張ります。



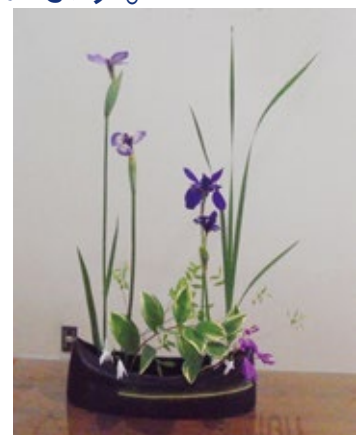
看護師

くらその あいり
倉菌 愛理

4月から看護師として入職しました。社会人一年目で不安もありますが、様々な経験を通して成長していきたいと思ひます。

患者さんにご家族に寄り添ったケアやサポートができる看護師を目指して頑張ります。

西諸華道連盟の皆様から、素敵なお花をいただひています。
ありがとうございます。



放射線室紹介



放射線室は4名の診療放射線技師が従事しており、様々な画像診断装置を駆使し、各診療科における診断や治療のサポート、放射線機器等の保守管理および放射線被ばく防止に関する業務を行い、「患者さんにやさしく、安全かつ正確な検査」を目指して、全てのスタッフが協力して業務に取り組んでおります。

また、地域の急性期医療を担う病院として、緊急性のある患者さんの検査・治療に昼夜を問わず対応し、24時間365日いつでも撮影依頼に応えられる体制をとっています。

検査内容や医療放射線被ばくについての疑問、質問などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

◆認定資格◆

常に最新の知識や技術を入手し、情報を共有しています。各領域の専門資格や認定の取得も積極的に行っており、品質の高い医療技術を提供することを目指しています。

- 検診マンモグラフィー撮影認定技師 3名
- X線CT 認定技師 2名
- 超音波検査士 3名
- 第一種放射線取扱主任者 1名
- 救急撮影認定技師 1名
- ICLS 認定インストラクター 1名

◆検査機器のご紹介

- 一般撮影装置 3台
- ポータブル撮影装置 2台
- デジタルマンモグラフィー装置 1台
- 骨塩定量装置 1台
- X線TV装置 2台
- 外科用Cアーム装置 1台
- CT装置（64列）1台
- MRI装置（1.5T）1台



◆高額医療機器の共同利用について◆

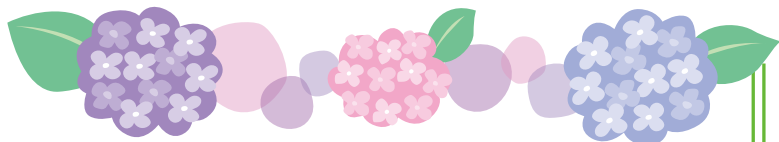
当院では医療機器の地域共同利用の観点から、院外からの放射線検査を積極的に受け付けています。どうぞご利用ください。

CT・MRI・マンモグラフィー・骨塩定量検査依頼は地域連携室までお問い合わせください。



放射線室室長 原田 教信

臨床工学室紹介



当院の臨床工学室では、3名の臨床工学技士が、それぞれの専門領域を持ち、医療チームの一員として、市民の皆様によりよい医療が提供できるよう励んでおります。

最近では、在宅医療や新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、呼吸機能を補助する業務が多くなりました。当院では多機能を有する人工呼吸器を保有しており、各種の呼吸疾患の状況に応じて使い分けを行っております。

慢性的な呼吸疾患では、経鼻から高流量の酸素を送るネーザルハイフロー（写真1）を使用し、呼吸状態の急性増悪や呼吸器抜管後のバックアップなどには、マスク（写真2）による非侵襲的陽圧換気法を使用しています。



人工呼吸器の動作テスト風景



写真1 ネーザルハイフロー



写真2 NIPPV マスク

人工呼吸器療法においては、機器からの早期離脱が最重要課題とされています。当院の臨床工学室では、看護病棟とRST（呼吸ケアサポートチーム）と連携して、患者さんへ最善の医療が提供できるように取り組んでおります。

臨床工学技師 南村 英次

スタッフのひとこと

今年も梅雨の季節がやってきました。毎年この時期は、カビや湿気対策に頭を悩ませます。じめじめする日が続くと、気分が滅入ることもしばしば・・・。

その一方で、紫陽花の花や梅仕事など、この季節ならではの楽しみもたくさんあります。ささやかな幸せに感謝しつつ、日々を過ごしたいと思えます。

地域医療連携室 事務員 柿木 良子



連絡先

小林市立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225（直通）

FAX 0984-23-8226

Mail k_hosp4@city.kobayashi.lg.jp